

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
電波伝搬委員会（第42回）議事概要（案）

- 1 日 時： 令和7年5月8日（木） 10:00～12:00
- 2 場 所： Web開催
- 3 議 題：
 - (1) 電波伝搬委員会第41回会合の議事概要について
 - (2) ITU-R SG3関連会合（令和7年2月）の結果について
 - (3) ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和7年5～6月）への日本寄与文書について
 - (4) ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和7年5～6月）への日本対処方針について
 - (5) その他
- 4 配付資料：

資料 電-42-1	電波伝搬委員会（第41回）議事概要（案）
資料 電-42-2-1	ITU-R SG3関連会合（令和7年2月）報告書（案）
資料 電-42-2-2	ITU-R SG3関連会合（令和7年2月）の議論の報告（案）
資料 電-42-3	ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和7年5～6月）への日本寄与文書（案）
資料 電-42-4	【取扱注意】ITU-R SG3及びSG3関連会合への日本対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG3会合開催案内
参考資料2	ITU-R SG3関連会合開催案内
参考資料3	ITU-R SG3及びSG3関連会合に向けた体制について
参考資料4	電波伝搬委員会構成員名簿（令和7年5月8日現在）
- 5 出席者（敬称略、順不同）：

[専門委員]

松永 真由美（主査）、吉敷 由起子（主査代理）、足立 朋子、今村 浩一郎、大矢 浩代、川本 雄一、福本 史郎、前川 泰之、西岡 未知、廣瀬 幸、山田 渉

[関係者]

金 ミンソク（新潟大学）、佐藤 彰弘（ソフトバンク）、高橋 昌也（同左）、多田 靖弘（構造計画研究所）、細川 大介（同左）、白川 正之（同左）、沢田 浩和（情報通信研究機構）、黒田 淳（警察庁）、毛利 政之（KDDI）

[事務局]

深松 佑次（総務省 基幹通信室）、御領 敏郎（同左）、高木 日和（同左）、

倉本 実佳（同左）、根本 研司（同左）

6 議事概要：

(1) 電波伝搬委員会第41回会合の議事概要について

資料 電-42-1について、意見等がある場合は、5月8日（木）までに事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG3関連会合（令和7年2月）の結果について

令和7年2月17日（月）から同年2月21日（金）にITU本部（スイス連邦 ジュネーブ）において開催されたITU-R SG3関連会合の結果について、資料 電-42-2-1及び電-42-2-2に基づき構造計画研究所 多田氏及び白川氏より説明がなされた。特段の修正意見はなく報告書及び議論の報告が承認された。

(3) ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和7年5～6月）への日本寄与文書について

1. 電-42-3-1 (3K/3M-1)、電-42-3-2 (3K/3M-2)、電-42-3-3 (3K/3M-3)

資料 電-42-3-1、電-42-3-2、電-42-3-3に基づき新潟大学 金氏より説明がなされた後、以下の発言及び質疑応答が行われ、修正の上で入力することが承認された。

前川 構成員 3件目の寄与文書のうち、Figure4のFSPL及びFigure5のABG modelについて本文中に説明がないので、加筆した方が良いと思われる。

金 氏 修正する。

吉敷 構成員 3件の寄与文書はデータバンクへの入力となるが、具体的な提案はしなくてよいのか。

金 氏 寄与文書の内容はサイトジェネラルモデル作成のためにデータを作成するものであり、特段の提案はしなくてもよい。

山田 構成員 前回会合で提案された項目について、パラメータを表に新しく追加するものと理解しているが、今回の会合で新しい提案は無く、データを入力するだけということで良いか。

金 氏 然り。指摘事項を修正し、パスロスだけをデータバンクに入れるという内容である。

山田 構成員 前回会合では広帯域のパラメータを入力していたが、今回会合ではどういった対応をする予定か。勧告化は狙わない活動をするという理解している。

金 氏 前回会合では合意が取れなかった。パラメータを新しく入力するつもりはなく、データの入力のみとなる。

松永 主査 今回はデータバンクへの登録のみということ取り扱いをさせていただく。

2. 電-42-3-4 (3K/3M-4)

資料 電-42-3-4に基づきNTT 山田氏より説明がなされた後、特段の意見はなく、入力することが承認された。

3. 電-42-3-5 (3K-5)

資料 電-42-3-5に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、以下の発言及び質疑応答が行われ、修正の上で入力することが承認された。

前川 構成員 Figure.1の横軸について、Distance[degree]になっているので修正した方が良いと思う。また、 ϕ の表記について筆記体とそうでないものが混合しているので統一された方がよい。

佐藤 氏 然り。修正する。

前川 構成員 グラフについて、ロスがマイナスとなっているが、これは位相が合致したときに増えるということによいか。ロスがマイナスなところで違和感を覚える人がいるかもしれないので、説明を加えた方がよい。

佐藤 氏 ロスについては、もともと1410モデルに組み込まれているので、説明を加えなくても問題無いと思う。

4. 電-42-3-6 (3K/3M-6)

資料 電-42-3-6に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた。特段の意見はなく、入力することが承認された。

5. 電-42-3-7 (3J/3K/3M-7)

資料 電-42-3-7に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた。以下の発言が行われ、修正の上で入力することが承認された。

山田 構成員 今回会合でレポートとして承認される見込みでよろしいか。

佐藤 氏 然り。今回新しいデータを含めてレポートとして発行する目標である。

山田 構成員 文書中に定型として記載しなければいけない部分の様式は整っているのか。noting等の整理はなされているのか。

佐藤 氏 まだ固まっていない。

山田 構成員 その部分が固まっていないと発行は難しいと思う。現地で作成するのであれば、詳しい人との相談が必要である。

佐藤 氏 承知した。現地でドラフトの内容を相談する。

福本 構成員 既存のWorking Documentの変更提案になるが、元の文章となるAnnex17 3J116を変えた方がよい。また、3章については元の文書に対する変更履歴を付けた方がよい。

佐藤 氏 承知した。

6. 電-42-3-8 (3J/3K/3M-8)

資料 電-42-3-8に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた。以下の発言が行われ、入力することが承認された。

- 前川構成員 Figure3のうちの、青と緑の線について、説明をしてほしい。
- 佐藤 氏 青と緑の線は補助線である。それぞれピークから広がり方を示すために書いている。
- 松永 主査 どのような基準をもとに補助線を記載したか、本文中に説明はあるか。
- 佐藤 氏 書いていない。補助線として引いているという記載をしている。
- 松永 主査 厳密に議論をされる方がいる場合は、根拠を求められる可能性がある。
- 佐藤 氏 議論文書となるので、議長報告とはならず、エディトリアルな修正を求められるようなことはないので、現場の議論になると考えている。
- 前川 氏 ゼロからマイナス10dbまでの区間で最小二乗近似を引いたという説明はどうか。
- 佐藤 氏 近似線をつくったという説明は出来ると思う。
- 松永 主査 現場での議論になると考える。現地で議論がある場合に備えて対応の準備をしてほしい。

7. 電-42-3-9 (3J/3K/3M-9)

資料 電-42-3-9に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、以下の質疑応答が行われた。修正の上で入力することが承認された。

- 福本 構成員 Working Documentを修正する提案となるので、アタッチメントに添付していただきたい。また、タイトルは1409となっているので、タイトルを修正してほしい。
- どこの部分を修正したのか、修正履歴を加えていただきたい。一般的に他のWorking Partyでは履歴を残しながら、新たな修正をハイライトで示するのが一般的だと思っている。
- 佐藤 氏 承知した。修正する。

(4) ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和7年5～6月）への日本寄与文書（案）

事務局より、SG3及びSG3関連会合において、日本代表団は資料 電-42-4の内容に従って対処を行うことを提案したところ、特段の意見はなく本対処方針が承認された。

(5) その他

事務局より、SG3及びSG3関連会合に向けた今後のスケジュール予定を報告した。また、以下の質疑応答がなされた。

吉敷構成員	配付資料のうち、参考資料 3 からWP3Lの記載が抜けている
事務局	承知した。修正する。

以上